

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

河川改修事業の評価について

平成 25 年 11 月 5 日に「北陸地方整備局事業評価監視委員会※」が開催され、梯川直轄河川改修事業については、「**継続**」するとの評価でした。金沢河川国道事務所としては、地域の安全安心づくりのため、より一層河川改修を推進してまいります。

※「事業評価監視委員会」とは、公共事業の効率化及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、第三者である学識経験者などに審議していただくことを目的として平成 11 年度から制度化されているものです。

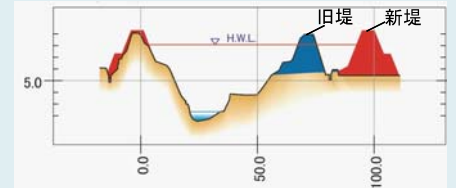
河川改修事業 位置図



河川改修事業の内容

○築堤、旧堤撤去

戦後最大規模の流量を計画高水位(HWL)以下で流下させることのできない区間においては、河道の流下能力向上対策として、引堤・旧堤撤去・嵩上げ・腹付けなどの堤防整備を実施します。



築堤・旧堤撤去のイメージ

○分水路の整備

国指定重要文化財である小松天満宮を現位置に残す分水路計画を含めた都市計画を平成 11 年 1 月に決定しており、文化財との調和を図りつつ、道路整備、家屋移転などのまちづくりと一体となった分水路整備を実施します。

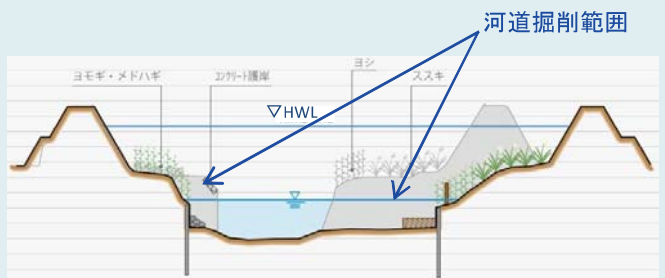


分水路イメージ図

○河道掘削

必要な河道断面が確保されていない区間については、堤防が整備されていても、家屋などへの被害が想定されるため、河道掘削を実施します。

縦横断的に河道の状況を把握し、掘削後の河道の維持および動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮して実施します。



河道掘削のイメージ

事業着手前(平成 17 年 5 月)



現在の状況(平成 25 年 3 月)



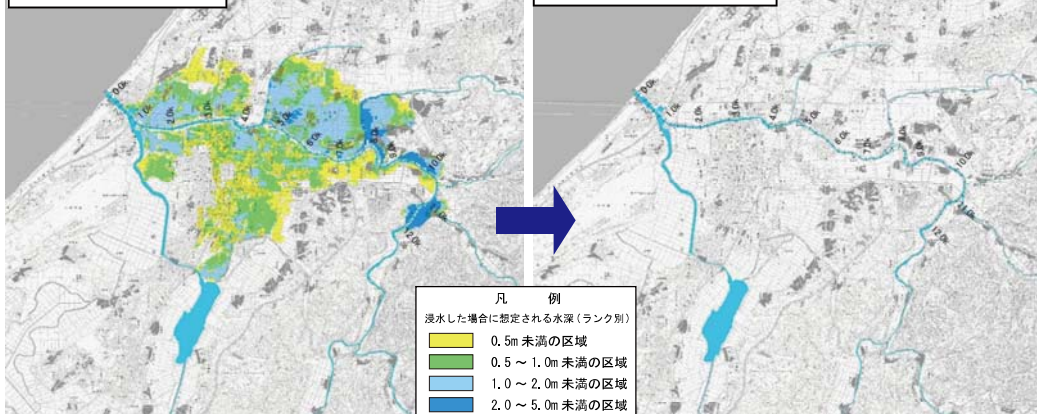
小松天満宮周辺の改修の状況

河川改修事業の投資効果

戦後最大規模の出水における浸水範囲

【平成 25 年度末河道】

【全体事業実施後河道】



凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m 未満の区域
0.5 ~ 1.0m 未満の区域
1.0 ~ 2.0m 未満の区域
2.0 ~ 5.0m 未満の区域

戦後最大規模の出水が発生しても、全体事業実施後は**氾濫被害はゼロ**となります。

氾濫による被害状況

氾濫被害状況	事業着手時	全体事業実施後
被害総額 (億円)	1,831	0
被災人口 (人)	27,562	0
床上浸水戸数 (戸)	4,931	0
床下浸水戸数 (戸)	5,070	0
浸水面積 (km ²)	20	0

改修工事の紹介

平成26年3月5日現在、下記に示す改修工事（①～⑰）が施工中となっています。工事期間中はご迷惑をおかけするかとと思いますが、ご理解・ご協力をお願いします。

平成26年3月5日時点

番号	工事名	工期	受注者
①	梯川逆水門左岸耐震補強工事	平成24年12月1日～平成26年3月20日（予定）	株式会社 植木組
②	梯川逆水門耐震補強工事	平成25年3月5日～平成26年3月31日（予定）	株式会社 奥村組
③	梯川鶴ヶ島低水護岸外工事	平成25年5月18日～平成26年3月14日（予定）	株式会社 吉光組
④	手取川梯川管内光ケーブル管路設置工事	平成25年6月13日～平成26年3月14日（予定）	株式会社 北都組
⑤	梯川鶴ヶ島上流低水護岸外工事	平成25年8月20日～平成26年3月3日（予定）	株式会社 江口組
⑥	梯川鶴ヶ島下流低水護岸外工事	平成25年8月21日～平成26年3月10日（予定）	酒井工業株式会社
⑦	梯川天神耐震対策及び管理橋下部工事	平成25年8月6日～平成26年3月24日（予定）	株式会社 丸西組
⑧	梯川天神築堤護岸外工事	平成25年8月8日～平成26年3月24日（予定）	中島建設株式会社
⑨	梯川天神耐震対策（上流）工事	平成25年8月10日～平成26年3月24日（予定）	株式会社 丸西組
⑩	梯川石田橋上流堤防補強工事	平成25年9月11日～平成26年4月30日（予定）	株式会社 吉光組
⑪	梯川石田橋下流堤防補強工事	平成25年9月11日～平成26年3月28日（予定）	株式会社 豊蔵組
⑫	梯川大川低水護岸外工事	平成25年10月17日～平成26年3月28日（予定）	石川建設株式会社
⑬	梯川天神低水護岸（下流）その2工事	平成25年10月11日～平成26年3月28日（予定）	株式会社 吉光組
⑭	梯川古府災害復旧工事	平成25年11月29日～平成26年3月31日（予定）	株式会社 丸西組
⑮	梯川天神排水管及び分水路工事	平成26年2月27日～平成26年10月31日（予定）	真柄建設株式会社
⑯	梯川城南橋低水護岸工事	平成26年3月1日～平成26年12月26日（予定）	株式会社 吉光組
⑰	梯川天神管理橋上部工事	平成26年3月4日～平成26年8月29日（予定）	安部日鋼工業株式会社



第7回野鳥観察会を開催しました

2月16日（日）に、梯川手づくり学習館にて第7回野鳥観察会を開催し、13組34名の親子が参加しました。加賀市鴨池観察館の桜井佳明さんを講師にお招きし、カモの特徴や生態についての解説や、マガモやコハクチョウなどの野鳥の重さを実際に体感するクイズなどで楽しく勉強しました。その後、屋外で双眼鏡を使って観察を行いました。イベント後のアンケートでは、「色々な鳥が見られて楽しかった」や「クイズが楽しかった」などの意見が多く寄せられました。



講師による説明の様子



屋外での野鳥観察の様子



野鳥の群れ

水辺の国勢調査

河川水辺の国勢調査

河川水辺の国勢調査では、全国 109 の一級河川を対象に右表に示す 8 項目について調査を実施しています。

このうち生物調査は、同一年度に全ての調査項目を一斉に実施するのではなく、5 ヶ年で各調査が一巡するようなローテーションで実施しています。梯川では 4 巡目の調査が完了し、現在は 5 巡目を実施しています。

番号	調査項目
1	魚類調査
2	底生動物調査
3	植物調査
4	鳥類調査
5	両生類・爬虫類・哺乳類調査
6	陸上昆虫類調査
7	河川環境基図調査
8	河川空間利用実態調査

平成 25 年度 梯川水系河川環境基図調査結果

平成 25 年度は梯川の植生図の作成を行いました。梯川は都市型河川であり、水面と草本群落が多い面積を占めています。梯川では 37 の植物群落が確認され、主な植物群落を以下に紹介します。



■ツルヨシ群落

河川上流域の河岸や砂礫地に多く生育している。



■オギ群落

河川中流から下流の泥の堆積した河原などに生育している。



■ウキヤガラ-マコモ群落

河川の浅水中に生育している。



■ススキ群落

日当たりの良い堤防で生育している。



■セイタカヨシ群落

ヨシより大型で 5m 程の高さになる。石川県では絶滅危惧Ⅱ類に指定している。

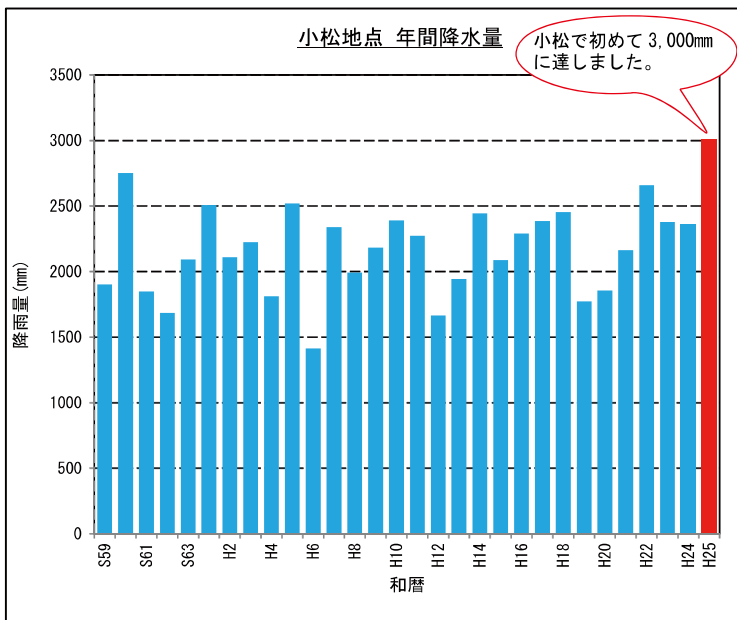
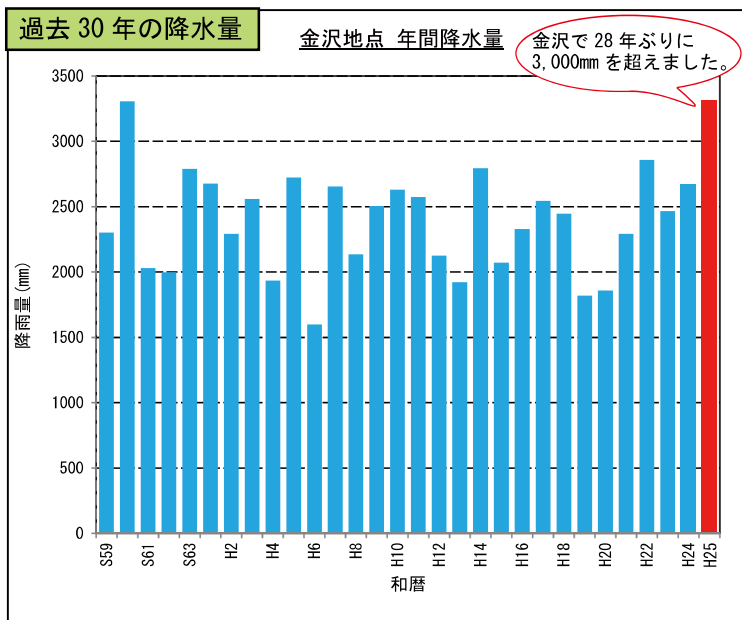


■ヨシ群落

河川中流から下流の川岸に生育している。

平成 25 年の降雨状況について

小松の昨年 1 年間（平成 25 年）の降水量が、1978（昭和 53）年の統計開始以来最も多く、初めて 3,000mm に達したことが金沢地方気象台のまとめで分かりました。また、金沢の降水量は過去 2 番目の多さで、昭和 60 年以来 28 年ぶりに 3,000mm を超えました。7 月中旬から 8 月上旬にかけて梅雨前線の活動が活発だったことに加え、秋の台風接近で、大雨となる日が多かったことが要因と考えられます。



梯川河川愛護モニター活動紹介

河川愛護モニターの石田さんと本多さんに、梯川について感じたことを報告していただきました。ほんの一部ですがご紹介します。

■11～1月の活動報告（河川敷ゴミ処理作業）

- 11月1日（金）午前9時20分～
小松出張所～九竜橋川排水機場（左岸）
発砲スチロール・吸殻・ナイロン袋・紙パック・新聞紙・空き缶等
- 11月12日（火）午後0時～
九竜橋川排水機場石田橋～石田橋（左岸）
ナイロン袋
- 11月29日（金）午後1時～
石田橋～丸の内町地内
わずかだが法面にゴミが散乱
- 12月4日（水）午後0時20分～
小松出張所～九竜橋川排水機場（左岸）
発砲スチロール・吸殻・紙パック・新聞紙・空き缶等
- 1月6日（月）午前10時20分～
石田橋～小松出張所（左岸）
城南橋下流付近の道路に水たまり有り



平成25年度
梯川河川愛護モニター
石田 広行さん

■報告内容に対する意見、感想等

- 1月24日（金）
霊峰白山の雪稜線があまりに見事だったので、写真を撮るのに極力障害物の無い所を探しましたが適当な場所がなく、小松大橋までたどり着きました。合わせて周辺の護岸工事の進捗状況を確認しました。
- 1月29日（水）
石田橋・小松大橋周辺の護岸等工事のため、堤防敷きはバリケードや進入工事車両も多く、工事の進捗状況を間近で見るのが憚られます。まして放置されたゴミの収集は嫌味に見られるとの思いで作業を控えています。寒い中、警備員のご苦労を察します。
- 1月31日（金）
広報「かけはしがわ」にゴミを拾う作業内容が掲載されているが、いつも汚い河川敷なのかと思えるので、もっと明るい話題を記載したらと言った読者からの言葉が胸に突き刺さりました。反省。

【コメント】

貴重なご意見ありがとうございます。今度の河川事業の参考にさせていただきます。

■11～1月の活動報告（河川敷ゴミ処理作業）

- 11月9日（土）午後
白江大橋～中海大橋
12月8日（日）
河口～石田橋
発砲スチロール・ビニール等
左岸側の河川敷に焼き火跡有り
- 1月7日（火）
石田橋～JR梯川橋
スポンジマット・空き缶・弁当空容器等



平成25年度
梯川河川愛護モニター
本多伊久夫さん

■報告内容に対する意見、感想等

- 11月9日（土）
白江大橋上流側橋の上からうっすらと雪化粧した山並みを見つめ、何気なく川底をのぞくと車のタイヤが4本沈んでいるのが見えました。その少し上流に自転車らしきものもありました。環境美化が叫ばれる中、心無い行為には困ったものです。
鍋谷川合流付近、河原のススキが白い穂をたれ秋風になびいていました。もう渡り鳥が飛来しているのを見て、足早に季節が移っていると感じました。
- 12月8日（日）
連日みぞれ混じりの風雨強い日々でしたが、今日はすっきりと晴れ上がり気温もおだやかで、河川敷では釣りをする人が多く見られました。河口から上流に向かって歩くと、白山の眺望が実にすばらしく、雪化粧した山並みは絶景でした。
城南橋～石田橋の右岸側河川敷では、液状化対策の工事が行われていました。
- 1月7日（火）
右岸側梯大橋詰に、梯川の歴史や由来を詳しく記した案内板があり、橋の名前から川の名前が付けられたということを知りました。
左岸側梯大橋詰に空き缶が捨ててありましたが、その脇に「あなたのポイ捨て川が泣いている」という標語看板が立っているのが、むなしくやるせない思いがしました。

「平成26年度河川愛護モニター」を募集しています！

国土交通省金沢河川国道事務所では、地域住民の皆様への関心が高まっていることから、積極的な協力を求めて、河川愛護モニターを募集しています。

1. 活動内容：(1) 手取川または梯川に対する意見。モニターご自身の河川愛護に関する活動報告（毎月）
(2) 金沢河川国道事務所の河川事業やイベントなどに対する感想・意見（随時）
(3) 地元の情報提供
2. 募集人員：手取川、梯川それぞれ2名ずつ
3. 応募資格：手取川または梯川の付近にお住まいで満20歳以上の心身共に健康な、河川愛護に関心をお持ちの方
4. 任 期：平成26年7月1日より平成27年6月30日まで
5. 応募締切：平成26年5月30日（金）
6. そ の 他：河川愛護モニターの方には、金沢河川国道事務所より薄謝を進呈いたします。
7. お申込み・お問い合わせ先：金沢河川国道事務所 河川管理課 TEL：076-264-9916
FAX：076-233-9612

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800（代表）
小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所